

従業員とのかかわり

荒川化学グループでは従業員の能力や働きがいを高めるために、人財育成や働きやすい職場環境づくりに力を入れています。

人財の活用 働きがいのある職場づくりを目指しています

■高齢者雇用

定年退職者が、60歳以降も健康で働く意欲があり、かつ労働条件で会社と合意できた場合は、継続して働くことができる継続雇用制度があります。また、定年退職を迎える社員を対象に、定年退職後の生活設計を支援するための情報を提供するセミナーを実施しています。

■障がい者雇用

障がい者の方の採用については新卒採用、中途採用含めて実施しています。今後も、職場・職域の拡大を進め、雇用を推進していきます。

■社員構成（荒川化学単独/2008年3月末日現在）

	人数
社員数	627人
内訳:男性	584人
女性	43人

■2007年度雇用実績

	人数
高齢者継続雇用	19人
障がい者	10人

■育児・介護休業法改正への対応

2003年7月に公布された「次世代育成支援対策推進法」に基づき、仕事と家庭の両立を支援するための行動計画を策定しました。また、育児・介護休業法改正の趣旨に基づき、社員就業規則を改正しました。

インターンシップ制度

荒川化学は、大学、高校の学生に荒川化学での働き方を体験していただくためにインターンシップ制度を実施しています。体験した方々には、現実の仕事を通して、将来のキャリアプラン形成に役立ててもらっています。

※インターンシップ制度とは、「学生が一定期間企業等で研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行える制度」のことで、文部科学省、経済産業省、厚生労働省や各種経済団体は、インターンシップ制度の導入を積極的に推進しています。

■貢献主義人事制度

「働きがい」をもって仕事に取り組むことで、より高い成果をあげるため、2005年度よりマネジメントクラス（管理職）全員を対象とした貢献主義（成果主義）人事制度を導入しました。報酬に関しては年俸制として職務給（給与）と成果給（賞与）で構成し、成果給は業績に連動する制度としています。

貢献主義を実践するために、貢献計画書（目標管理）とマネジメント行動基準書をツールとしています。

またメンバークラス（非管理職）についても、「働きがいのある会社」「喜んで働ける会社」を目指し、育成を重視したメンバークラス貢献主義人事制度を2008年度から導入します。

■社内公募制度

社内公募制度とは、会社が必要とするポストや職務の要件をあらかじめ社内に公開し、応募した社員の中から適切な人財を選抜するもので、会社と社員双方の意思を尊重した人財育成を促進するために実施しています。2007年度は1名を、中国（広西荒川化学）へ派遣しました。

Voice



広西荒川化学工業有限公司 研修生
當麻 逸樹

昨年2月から約1年間「社内公募制度」に参加しました。キャリアアップと広い視野を持ちたいと考えたためです。まず現地の大学で外国人と一緒に中国語の習得に専念し、その後現地職場で研修を受けました。

印象的だったのは、日本の常識が通用せず、中国・日本間の違いを目の当たりにしたこと。コミュニケーションやその手段である言葉の大切さを痛感できたのは現地研修だからこそ。この体験は一生の財産です。



中国語の先生を囲んで。後列左から3人目

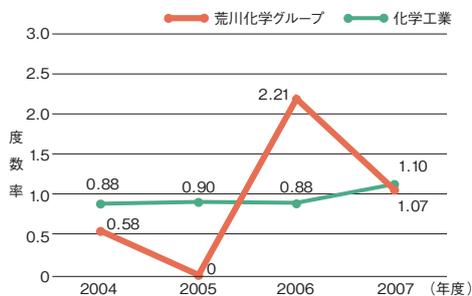
労働安全衛生活動 | 安心・安全で快適な職場環境づくりに努めました

労働災害

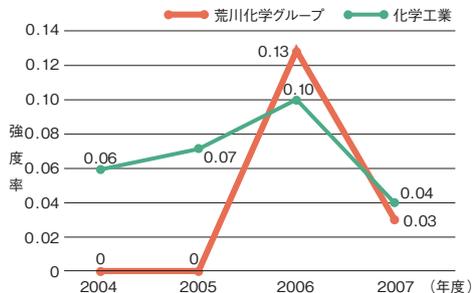
荒川化学グループで2007年度に発生した休業災害は、2件で2006年度の4件より減少しました。また、休業日数も、2007年度は49日で2006年度の242日より大幅に減少しました。

2008年度は災害・事故ゼロを目標に掲げて、KY活動、ヒヤリハット活動、5S活動をさらに充実させていきます。

労働災害度数率



労働災害強度率



度数率＝労働災害による死傷者数／延労働時間数 × 1,000,000
 強度率＝労働損失日数／延労働時間数 × 1,000
 化学工業の労働災害度数率と労働災害強度率は、厚生労働省「平成19年労働災害動向調査(甲調査)結果の概況」(平成20年5月28日発表)からの出典による。

健康管理

荒川化学グループでは、健康管理として法に定められた健康診断を実施するとともに、衛生講話などを開催しました。



水島工場/衛生講話

健康管理実施状況

実施日	事業所名	項目	内容
2007年5月11日	水島工場	衛生講話	禁煙について
2007年5月25日	大阪工場	医療講話	禁煙について
2007年7月18日	富士工場	衛生講話	熱中症予防対策と健康管理
2007年10月23日	大阪工場	医療講演会	肝機能障害(研究所と合同)
2007年10月26日	小名浜工場	健康相談会	健康診断有所見者
2008年1月30日	ベルノックス	健康相談会	健康診断有所見者
2008年2月19日	高圧化学	産業医講演会	メンタルヘルス
2008年3月18日	研究所	健康講演会	メタボリックシンドローム

安全衛生表彰

荒川化学グループの各工場では、多くのベテラン社員が、安全衛生活動に対する長年の貢献を評価されて、関係団体から表彰されました。



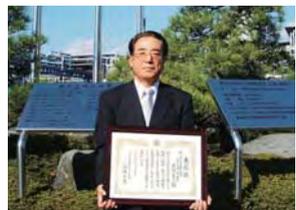
徳島工場/新田 竹弘
(優良ボイラー技士表彰)



大阪工場/福森 章夫
(消防功績顕彰表彰)



水島工場/鳥越 誠
(高圧ガス保安功労者表彰)



富士工場/渡辺 善久
(優良ボイラー技士表彰)

安全衛生表彰実績

受賞日	事業所名	表彰団体	受賞
2007年4月24日	富士工場	日本商工会議所 富士商工会議所	優良従業員表彰(3名)
2007年5月21日	徳島工場	日本ボイラー協会 徳島支部	優良ボイラー技士 表彰(1名)
2007年5月23日	富士工場	静岡県商工会連合会	優良従業員表彰(2名)
2007年6月21日	大阪工場	大阪市防火管理協会 鶴見支部長および 鶴見消防署長	消防功績顕彰 表彰(1名)
2007年10月18日	高圧化学	(社)大正工業会	優良社員表彰(1名)
2007年10月23日	水島工場	岡山県知事	高圧ガス保安功労者表彰(1名)
2007年11月7日	大阪工場	大阪市防火管理協会	優良防火管理者表彰(1名)
2007年11月15日	富士工場	(社)日本ボイラー協会	優良ボイラー技士表彰(1名)
2007年11月22日	大阪工場	大阪府工業協会	優良従業員表彰(2名)

従業員とのかかわり

教育訓練、防災訓練 全従業員のレベルアップをめざしています

■環境教育

荒川化学グループのISO14001認証工場では、年間計画を立て環境教育を実施しています。また、未取得工場では、安全衛生計画の中で、安全衛生教育と併せて実施しています。2007年度、環境教育に費やした時間は、延べ791時間でした。

また、教育研修制度の一環として通信教育講座を開設しており、修了時には補助金が支給されます。2007年度は、環境・安全に関わる「ISO14001:2004入門」「メンタルヘルス・マネジメント」などが開講され、18名が受講しました。その他、22名が資格取得のために「公害防止管理者」などの講座を受講しました。

■環境教育実施状況 (時間)

教育内容	2006年度	2007年度
省エネ教育	38	5
ISO14001教育	405	469
自覚教育	319	317
合計	762	791

■防災訓練

荒川化学グループでは、安全衛生の年間計画に従って、防災訓練を実施しているほか、地域の自衛消防隊の大会に参加しています。

■2007年度防災訓練一覧表

実施日	事業所名	内容
2007年5月30日	富士工場	救命救護・AED※訓練
2007年6月15日	大阪工場	合同消防訓練(研究所と合同)
2007年8月10日	高圧化学	火災・爆発防災模擬訓練
2007年9月4日	富士工場	地震防災訓練
2007年9月13日	小名浜工場	地震防災訓練
2007年9月14日	大阪工場	総合防災訓練(研究所と合同)
2007年9月24日	釧路工場	地震防災訓練
2007年10月11日	水島工場	合同防災訓練
2007年10月18日	鶴崎工場	大分市自衛消防競技大会 敢闘賞
2007年10月21日	富士工場	富士市自衛消防隊ポンプ操法大会 2連覇
2007年11月6日	大阪工場	鶴見区自衛消防競技会錬成会
2007年11月15日	小名浜工場	消火器消火訓練
2007年11月16日	高圧化学	大正区自衛消防競技会技術発表会
2007年11月28日	東京支店	自衛消防隊訓練
2007年12月28日	高圧化学	地震・津波防災対策訓練
2008年1月13日	富士工場	富士市消防出初式 小型ポンプ操法披露
2008年1月17日	大阪工場	AED※設置及び講習(研究所と合同)
2008年1月18日	大阪工場	地震防災訓練(研究所と合同)
2008年2月14日	本社	消防訓練
2008年2月22日	富士工場	AED※設置および講習

※AED：心停止状態になった心臓に電気ショックを与えることで、正常なリズムを取り戻させる医療機器。最近では公共施設などでの設置が進んでいます。

■資格取得

荒川化学グループでは、業務に必要な環境、安全に関わる資格取得を行っています。現在、必要な資格取得者数は充足していませんが、新入社員、転入者を主体として、積極的に資格取得の推進を図り、従業員のスキルアップにつなげています。

■環境、安全に関わる資格 (人)

資格名称	2006年度末	2007年度末
公害防止管理者	44	39
エネルギー管理士	8	10
エネルギー管理員	4	5
廃棄物処理施設技術管理者	6	6
特別管理産業廃棄物管理責任者	16	14
環境計量士	3	2
作業環境測定士	2	2
衛生管理者	14	15
ボイラー技士	153	159
危険物取扱者	637	659
高圧ガス製造保安責任者等	70	76



大阪工場・研究所 / 消防競技会での受賞風景



富士工場 / 消防出初式での披露風景



小名浜工場 / 消火器による消火訓練風景



鶴崎工場 / 消防競技大会で敢闘賞受賞



東京支店 / 消防訓練での模擬煙体験



高圧化学 / 火災・爆発防災模擬訓練風景

Voice

AED訓練に参加して意識・呼吸の有無の確認、心臓マッサージや人工呼吸などを体験しました。AEDの使い方は音声ガイダンス通りにやればいのですが、やはり実際に体験しないとスムーズに対応できないのではと感じました。そういう意味で、今後も、機会があれば定期的に参加し、公共の場でも役に立てられればと思っています。



研究所 東本 徹



大阪工場に設置されたAED